

## 自国文化を英語で発信できる子を目指して ～ 全校集会が国際理解教育の場が変わった～

留萌市立礼受小学校 丸山 あき子

本校では、平成14・15年度に北海道教育委員会の英会話促進モデル事業の指定を受けることにより、それまで積み上げてきた英語活動を一層充実した活動に発展させることが出来た。また、北海道立教育研究所でのESL講座への参加を機に、本校の指導計画の見直しをし、英語活動を行う際の基本的な視点として、

『楽しい活動を通して「英語好き」な子どもを育てる』

『国際化社会に対応するための素地(積極的な態度)を育てる』の2点を基底に据え実践にあたった。

本校は、児童6名の極小規模校の特性を生かし、英語活動を行っている。

本校のニーズに応じたALTの派遣(モデル事業を踏まえて)

全校英語活動・全校集会の実施

B S L I M理論の実践

(B S L I Mとは、北海道教育委員会が推奨する英語活動指導方法)

国際理解教育とリンクさせた英語活動

上記4点が、本校英語活動の特長である。

本校は、人口約3万人の留萌市の南に位置する港町である。古くから漁業を生業として開け、子どもたちは皆まじめで、人懐こい。しかし、大勢の人が集まるイベントへの参加や、外国の方が集まる会への参加など、積極的に人と触れ合える機会や経験も不足がちである。そのため、他との関わり方が消極的で、はっきり自分の意志を伝えることを苦手としている子どもが多く、学校での国内外の情報収集・発信は重要な役割を果たしている。経験豊かで知識豊富な子どもたちを育成するため、学校行事を生かして様々な取り組みを試みている。

本校では、経験豊かな児童を育てるため、国際理解教育の基本目標のうち、わが国の文化や伝統を理解し、日本国民としての自覚のある子どもの育成  
世界の中の日本人として、意思疎通のできる子どもの育成

外国人との交流に意欲を持つ子どもの育成

の3点を特に重視してきた。そこで、長年体験を豊かにすることを目標にしてきたもちつき集会に国際理解教育を導入することにより、子どもたちが日本の

伝統文化を発信できる集会に変えていった。

総合的な学習の時間では、もちつきだけでなく年末年始行事や七夕など、日本の伝統行事の由来や歴史について調べ学習中心に単元を構成してきた。日本人としての自覚の育成、自国文化理解の素地は（国際理解教育目標 ・ ）十分に高められてきている。

3年前から、調べたことを学校外へ発信することを通して、自信を持って活動し、他との関わりを深めることが出来ると考え、「日本の文化を外国へ」という国際理解を意識した学習を展開した。そこで、外国へ発信する手段として英語が必要となったのである。

英語活動では、発信に必要な「うす、きね、もち」など子どもたちが知りたい、使いたい単語を言語材料としているため、学習意欲が持続し、積極的に発信しようとする意欲の高まりを見ることができた。外国のことに興味を持ち、外国で働きたい、外国の方と触れ合いたいという子どもが増えてきたことも成果の一つであると考えられる。

もちつき集会について述べてきたが、この活動によって他とのかかわりが苦手だった子どもたちが、初めて会った外国のゲストの方たちに物怖じせず接することが出来た。また、自信を持ってもちつきやお正月について自分で調べたことを発表することもできた。日本について発信し、外国について学ぶことによって、子どもたちは日本人としての自覚が芽生えた。

今後の課題として、日本の文化についての発信手段、発信場所、発信対象について子どもたちのニーズに対応した工夫が必要である。子供たちが日本文化を理解し、日本人としての自覚も持つことが出来るよう、さらなる研究が必要である。

\* 下記は、本文にあるもちつき集会の指導案（「単元の学習について」以降）です。

## 8. 単元の学習について

本単元「日本の年末行事を紹介しよう」では、ハロウィンパーティーに参加し、その後の振り返る活動の中で「もちつき集会を紹介しよう」という課題を設定する。その中で、何気なく行っている年中行事にも由来があることに気付かせ、改めて“日本”について理解し、同時に他国の文化を尊重する態度を育てることができる活動をすすめる。

### (1) 単元目標

2 年	4 年	5・6年
他国の文化や伝統にふれ、自国の文化や伝統との相違点に気付くことができる。	他国の文化や伝統にふれることを通して、自国の文化や伝統に関心を持つことができる。	他国の文化や伝統にふれ、自国と比較することを通して、他国文化を尊重する態度をもち、自国文化への理解を深めることができる。

### (2) 単元活動計画

事象との 出会い (2時間)	<p>ハロウィンパーティーに参加し、ハロウィンの由来や遊びなどを教えてもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビで見たことがあるよ。</li> <li>・ハロウィンは、秋のお祭りなんだね。</li> <li>・カナダ以外にどこの国で行われているのかな。</li> </ul> <p>日本では、同じようなお祭りはないのかな。</p>
課題設定 (2時間)	<p>ハロウィンパーティーの感想を発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お母さんが日本の「七夕祭り」に似ていると言っていたよ。</li> <li>・日本にも季節ごとにお祭りがあるよね。</li> </ul> <p>礼受 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">もちつき集会に外国の人を招待しよう。(英語を使ってみよう)</span></p> <p>課題：</p> <p>もちつきについて、詳しく知ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族や身近な人に聞く。</li> <li>・本やインターネットなどで、調べる。</li> <li>・わかったことの中から、もちつき集会に招待するのに必要な事柄を選ぶ。</li> </ul> <p>調べた中で英語でも言えるものは、次回までに調べてこよう。</p>
活動計画を立てる (5時間)	<p>もちつきの楽しさ、もちの様子、材料などを英語で言えるようにしよう。</p> <p>rice cake, pestle, mortar, soysauce, soybean flour (使う材料) <span style="float: right;">本時</span></p> <p>(定着を図るため全2回扱う) <span style="float: right;">(2時間目)</span></p> <p>教わった英単語を使って、もちつきが伝わるような工夫をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・声の大きさ、速さ、強調したい部分など、伝えたいことが伝わるような工夫をする。</li> <li>・資料提示の仕方を工夫する。</li> </ul>
具体的な活動 (1時間)	<p>カナダの年末行事について教えてもらおう</p> <p>外国の方々にもちつき集会を楽しんでもらおう。(英語を使って紹介しよう)</p>

(3) 本時の目標

話したい英語を進んで表現しようとする。  
ALTや友達と楽しく活動することができる。

(4) 展開

学習活動		内容	HRT	ALT	留意点
導 入	1.あいさつ	[Good afternoon everyone.] [Good afternoon Dave.]			HRT ALT
	2.ウォーミングアップ	「if you are happy」を歌う 「the action song」を歌う 大きな動作で楽しそうに歌ったり踊ったりする。 ALTからの質問に答える。 黒板に貼ってある答えのカードをハンマーでたたく。			
	3.課題確認	もちつき集会で話したい英語を使えるようにしよう!			子どもたちから単語を出させる
英 語 活 動	4. input	絵を見ながら発音練習をする。 言語材料：rice cake, pestle, mortar, soysauce, soybean flour 絵を見ながらチャンツで発音練習する。 5つの英単語にジェスチャーをつける。 ここで決めたものは、この時間を通して使っていく。 ALTが言う英単語のジェスチャーをする。 ・子どもたちは、ジェスチャーしながら発音をする。 ALTがするジェスチャーを表す単語を言う。 ・子どもたちは、ジェスチャーしながら発音する。			リズムに合わせて、教師も一緒に楽しむ  子どもが考えたジェスチャーから相応しいものを選んでいく 自信のなさそうな子のそばで一緒に発音する
	5. intake getting it	全員で 2人ずつ絵カードの前に出て来て、ALTの言ったカードをたたく。2問で次の組に交代(はえたたきゲーム) 1人1枚のカードを持ち、みんなで輪になり、順番にカードの単語を発音していく。 隣の人と交換し、と同じように活動する。 ALTが発音したカードを持っている人が、同じカードの人と場所を入れ替える。(フルーツバスケットの要領で) グループで 1人がジェスチャーをし、それを表す単語をみんなで発音する。(全員が代表をする) 1人が発音し、それを表すジェスチャーをみんなでする。(発音も) 1人がALTのするジェスチャーを発音し、他のみんなはジェスチャーをする。(発音も)			HRTは子供の様子を見ながら全体を調整する  グループ活動中、ALTはグループを周り、発音のチェックをする
	using it	ペアで ペアになり、ジェスチャーを当てる。 グループ1：ジェスチャーする。 グループ2：You are ~. 全：good-bye. 2：hello.who are you? 1：ジェスチャー 2：you are ~. 全：good-bye.			
ま と め	6.次時予告	次回は、使えるようになった単語を使って、もちつき集会の発表の練習をしよう。			
	7.あいさつ	[Good bye class.] [Good bye Dave.]			

(5) 本時の評価

口をはっきり開けて発音し、話したい英語を表現しようとしたか。  
大きな声で歌ったり、元気良く動いたり、ALTや友達と楽しく活動することができたか。

(6) 授業風景

